

グルジア政治・経済 主な出来事

【4月8日～4月14日】2013年

〔当地報道をもとに作成〕

平成25年4月17日

在グルジア大使館

主な動き

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

アブハジア・アルメニア人協会の代表2人がサルグシャン・アルメニア大統領の就任式に出席(9日)

ラケルバイア「首相」がモスクワを訪問(10日)

ヌルガリエフ露安全保障会議副書記、オニシチェンコ露消費者保護監視局局長がアブハジアを訪問(10日)

・アंकワブ「大統領」と関税や「国境」管理について協議。

・ガリの境界線付近の地域を視察。「ヌ」安保会議副議長は「4月末には新しい2つの検問所が試験的に開かれる」と述べた。

マグニチュード4.5の地震が起きる(11日)

・震源地はグダウタの北方22km。被害は伝えられていない。

【南オセチア】

ヌルガリエフ露安全保障会議副書記、オニシチェンコ露消費者保護監視局局長が南オセチアを訪問(7日8日)

・チピロフ「大統領」とともに、レニングリ地区のインフラ・社会施設の状況を視察し、露軍基地を訪問。

2. 外政

ウスバシヴィリ国会議長がポーランドを訪問(8日-10日)

チェコの外務大臣がグルジアを訪問(8日-9日)

・外交関係樹立20周年を記念した訪問。イヴァニシヴィリ首相、パンジキゼ外務大臣らと会談。

・9日、グルジア・チェコビジネスフォーラムが開催された。

欧州評議会議員会議(PACE)の報告者がグルジアを訪問(8日-11日)

・グルジアの現状についての事実調査を目的とした訪問。イヴァニシヴィリ首相、ウスバシヴィリ国会議長ら多くの要人と会談した後、サムツヘ・ジャヴァヘティ地方を視察した。

オディシャリア文化・遺跡保護大臣がアルメニア大統領の就任式に出席(9日)

サアカシヴィリ大統領がアンカラでギュル・トルコ大統領と会談(9日)

マイコ・ウクライナ外務次官がグルジアを訪問(9日10日)

米国のメリア民主主義・人権・労働担当国務次官補代理、ルービン欧州・ユーラシア担当国務次官補代理らがグルジアを訪問(9日-12日)

・12日、米グルジア戦略的パートナーシップ憲章(2009年1月調印)の枠組みでの、民主主義に関する作業部会会合が行われ、アフガニスタンでのグルジアの貢献やジュネーブ会合、司法最高審議会の改革を含むさまざまな問題が討議された。

・会合後の共同声明は、グルジアの民主的発展に対する米国の支援を強調するとともに、2012年10月の議会選挙とそれに伴う平穏な政権交代を「欧州・大西洋との統合に向けた前進を示している」と評価した。

ラヴロフ露外務大臣のTVインタビュー(10日)

・グルジアの新政権について、「露グルジア関係の諸問題に実際的に取り組んでいる」と評価。

・「近い将来にグルジアに『アブハジアと南オセチアのこととは忘れよう』という政治家が現れることはないだろうが、ロシアにも『我々が間違っていた』という政治家は現れないだろう」と発言。

サアカシヴィリ大統領がポーランドを訪問(11日-12日)

パンジキゼ外務大臣がアルメニアを訪問(12日-13日)

・セルジュ・サルグシャン大統領、ティグラン・サルグシャン首相、ナルバンジャン外務大臣らと会談。「アブハジアを通る鉄道についての話は出たが、具体的なことは何も決まっていない」とコメント。

3. 内政

民主運動党のヴァフタンク・コルバイア氏がアブハジア自治共和国(註:グルジア国内行政上の公式機関)の臨時首班に(8日)

イヴァニシヴィリ首相が2008年の戦争についての再調査が必要であると発言(10日)

・「個人的に多くの疑問があり、大統領を含め、政府の行動はあの状況において不適切であったと思う」「露軍が国境を越える前に軍事行動を始めたのは正当化できない」「調査の過程で必要になれば、大統領も質問に答えねばならない」と述べた。

・11日、サアカシヴィリ大統領は、首相の発言はロシアに「占領の法的な根拠」を与えるものであり、グルジア

の領土一体性を揺るがすような調査には一切協力しないとコメント。

- ・12日、首相は「戦争の際の真実が明らかにされねばならない」とする書簡を発表。

- ・検察当局内に特別調査委員会が設置される予定。

イヴァニシヴィリ首相が国家とグルジア正教会の関係について発言(10日)

- ・「正教会は国から独立していなければならない」としつつ、これまで国家予算から正教会へ資金が拠出されてきたことを擁護。「ただし、国家は教会に対していかなる影響力も行使してはならない」と述べた。

- ・2013年の国家予算からは2500万ラリが正教会に割り当てられている。

クタイシ市議会がブレガゼ市長を不信任で罷免(12日)

- ・ブレガゼ氏は2012年10月に当時の多数派「統一国民運動」(UNM)から選出された。

- ・市議会では、4月はじめに、党員の離脱によりUNMが少数派に転落。

- ・2週間以内に新市長の立候補が始まり、議会が選出する。

独立記念日の軍事パレードの縮小を発表(12日)

- ・政府は、5月26日の独立記念日に毎年行われる軍事パレードについて、今年はごく小規模なものにすると発表。

4 . 経済

ボルジョミの露市場への輸出が認可される(11日)

- ・IDSボルジョミ社長は2005年以前の3.5%のシェアを目指すと述べた。

- ・同じく認可を申請している鉱泉水「サイルメ」「ナベグラヴィ」などはまだ認可されていない。

- ・2012年12月に、ボルジョミを製造・販売する「IDSボルジョミ」の株式の過半数を露アルファ・グループが取得している。

PayPal がグルジアで利用可能に(11日)